

天気予報XMLを読み解こう

～気象庁XML利活用セミナー～

2013／3／12

気象庁予報部業務課

杉山 善昭

【目標】

- 天気予報XMLを読む前に知っておくべきこと。
 - 資料はこれが基本
- 天気予報XMLには何がある？
 - XMLを眺めるとこんな情報が入っている。
 - 解説資料を眺めるとこんな流れになっている。
 - 併せてみるとこういう使い方になる。
- 応用開発をするために使えるもの。

【資料は何が基本？】

- 気象庁XMLを読むための基礎資料は「辞書」。

でも・・・

- 辞書は全ての情報を共通に使うものなので、各情報単位での運用が見えない。

府県天気予報
地方季節予報

震源・震度に関する情報
津波警報・注意報・予報
噴火警報・予報

特殊気象報
生物季節観測報告気象報
紫外線観測データ



これが基本資料

- 個々の情報を読み解く基本は
 - 辞書
 - 解説資料(プロフィール)
 - サンプルデータ

- 天気予報XMLを実際に読み解くことにより、各資料の見方と電文構造を理解しよう。

【天気予報XMLを眺めてみよう】

上から順に俯瞰してみよう。

■ ヘッダ部あたり

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
<Title>愛知県府県天気予報</Title>
<ReportDateTime>2013-03-06T17:00:00+09:00</ReportDateTime>
<TargetDateTime>2013-03-06T17:00:00+09:00</TargetDateTime>
<TargetDuration>P2DT7H</TargetDuration>
<EventID/>
<InfoType>発表</InfoType>
<Serial/>
<InfoKind>府県天気予報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
<Headline>
<Text/>
</Headline>
</Head>
```

見方は
分かった

見方は
分かった

中身が無いぞ？

上から順に俯瞰してみよう。

■ 内容部のおっきなつくり

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"  
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
```

```
<MeteorologicalInfos type="区域予報">...</MeteorologicalInfos>
```



①

```
<MeteorologicalInfos type="地点予報">...</MeteorologicalInfos>
```



②

```
<MeteorologicalInfos type="区域予報">...</MeteorologicalInfos>
```



③

```
<MeteorologicalInfos type="地点予報">...</MeteorologicalInfos>
```



④

```
</Body>
```

内容部を掘り下げて見てみよう。

- ①: 区域予報のカテゴリ予報・・・1つめのTimeSeriesInfo

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
      xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
```

```
<MeteorologicalInfos type="区域予報">
```

```
<TimeSeriesInfo>
```

```
<TimeDefines>...</TimeDefines> → 時間の定義
```

```
<Item>
```

```
<Kind><Property><Type>天気</Type>...</Property></Kind>
```

```
<Kind><Property><Type>風</Type>...</Property></Kind>
```

```
<Kind><Property><Type>波</Type>...</Property></Kind>
```

要素として、
天気と風と
波がある。

```
<Area>
```

```
<Name>西部</Name>
```

```
<Code>230010</Code>
```

```
</Area>
```

対象となる地域

```
</Item>
```

```
<Item>... </Item> → 地点数分続く
```

```
</TimeSeriesInfo>
```

内容部を掘り下げて見てみよう。

- ①: 区域予報のカテゴリー予報・・・2つめのTimeSeriesInfo

<TimeSeriesInfo>

<TimeDefines>...</TimeDefines> → 時間の定義

<Item>

<Kind><Property><Type>降水確率</Type>...</Property></Kind>

<Area>

<Name>西部</Name>

<Code>230010</Code>

</Area>

</Item>

<Item>... </Item> → 地点数分続く

</TimeSeriesInfo>

} 対象となる地域

} 要素として、
降水確率がある。

内容部を掘り下げて見てみよう。

■ ②: 地点予報の量的予報

```
<MeteorologicalInfos type="地点予報">
```

```
<TimeSeriesInfo>
```

```
<TimeDefines>...</TimeDefines>
```

→ 時間の定義

```
<Item>
```

```
<Kind>
```

```
<Property>
```

```
<Type>朝の最低気温</Type>
```

```
<TemperaturePart>
```

```
<jmx_eb:Temperature description="3度" refID="1" type="朝の最低気温" unit="度">3</jmx_eb:Temperature>
```

```
</TemperaturePart>
```

```
</Property>
```

```
<Property>
```

```
<Type>日中の最高気温</Type>
```

```
<TemperaturePart>
```

```
<jmx_eb:Temperature description="18度" refID="2" type="日中の最高気温" unit="度">18</jmx_eb:Temperature>
```

```
</TemperaturePart>
```

```
</Property>
```

```
</Kind>
```

```
<Station>
```

```
<Name>名古屋</Name>
```

```
<Code>51106</Code>
```

```
</Station>
```

```
</Item>
```

} 対象となる地域

} 朝の最低気温

} 日中の最高気温

→ 地点数分続く

内容部を掘り下げて見てみよう。

■ ③: 区域予報の時系列予報

```
<MeteorologicalInfos type="区域予報">
```

```
<TimeSeriesInfo>
```

```
<TimeDefines>...</TimeDefines>
```

→ 時間の定義

```
<Item>
```

```
<Kind>
```

```
<Property>
```

```
<Type>3時間内卓越天気</Type>
```

```
<WeatherPart>...</WeatherPart>
```

```
</Property>
```

```
</Kind>
```

```
<Kind>
```

```
<Property>
```

```
<Type>3時間内代表風</Type>
```

```
<WindDirectionPart>...</WindDirectionPart>
```

```
<WindSpeedPart>...</WindSpeedPart>
```

```
</Property>
```

```
</Kind>
```

```
<Area>
```

```
<Name>西部</Name>
```

```
<Code>230010</Code>
```

```
</Area>
```

```
</Item>
```

天気の時系列予報

風向・風速の時系列予報

対象となる地域

→ 地点数分続く

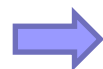
内容部を掘り下げて見てみよう。

■ ④: 地点予報の時系列予報

```
<MeteorologicalInfos type="地点予報">
```

```
<TimeSeriesInfo>
```

```
<TimeDefines>...</TimeDefines>
```



時間の定義

```
<Item>
```

```
<Kind>
```

```
<Property>
```

```
<Type>3時間毎気温</Type>
```

```
<TemperaturePart>...</TemperaturePart>
```

```
</Property>
```



気温の時系列予報

```
</Kind>
```

```
<Station>
```

```
<Name>名古屋</Name>
```

```
<Code>51106</Code>
```

```
</Station>
```



対象となる地域

```
</Item>
```






地点数分続く

内容部の作りと気象庁HPを照らし合わせてみると。

■ いわゆる天気予報

7日17時名古屋地方気象台発表の天気予報(今日7日から明後日9日まで)

西部	地域時系列予報へ	降水確率	気温予報
今夜7日  南の風 後 西の風 晴れ 夜遅く 曇り 波 0.5メートル		00-06 --% 06-12 --% 12-18 --%	
明日8日  北西の風 後 西の風 晴れ 時々 曇り 波 0.5メートル		00-06 10% 06-12 10% 12-18 10% 18-24 10%	名古屋 朝の最低 20度 昼の最高
明後日9日  北西の風 後 南の風 晴れ 波 0.5メートル		週間天気予報へ	

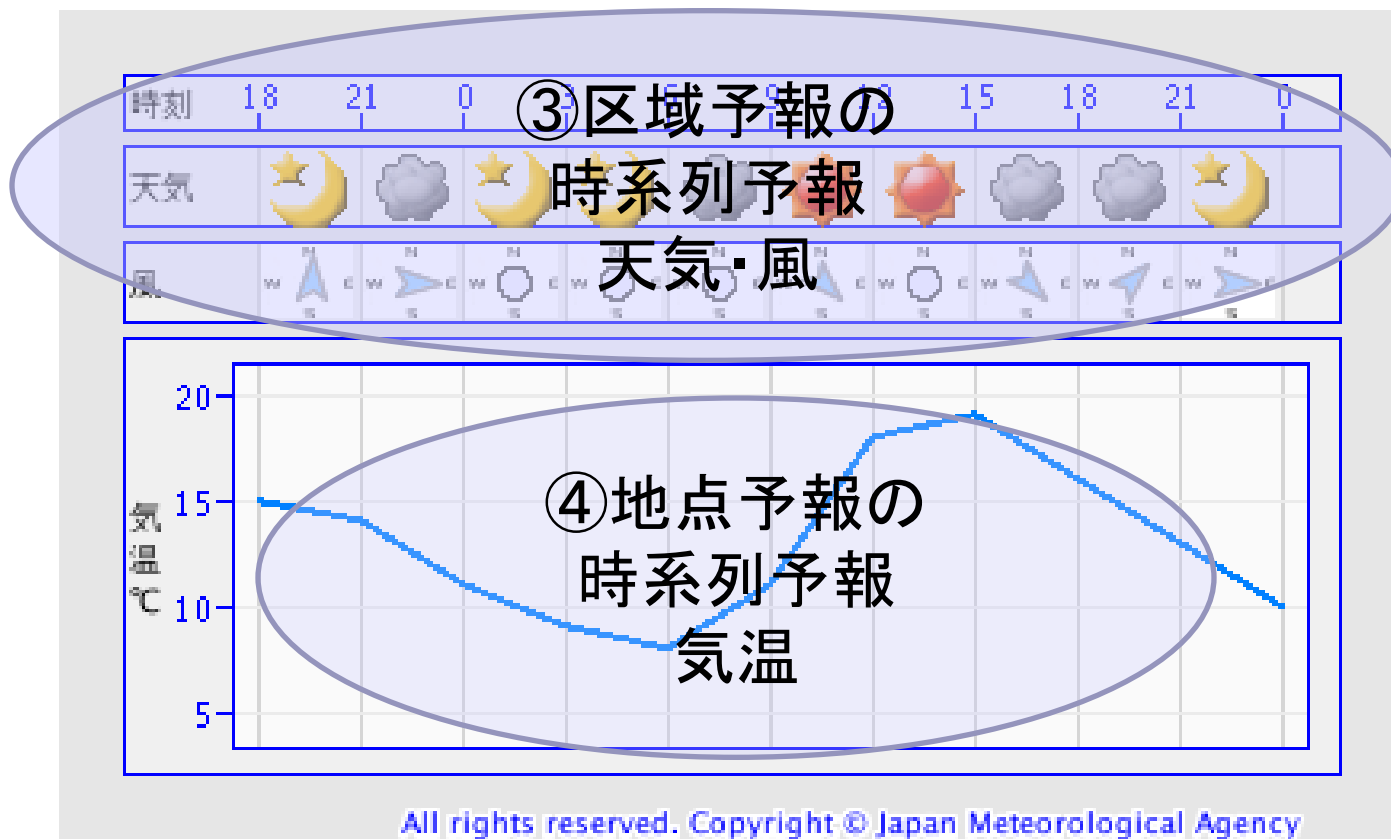
①区域予報の
 カテゴリー予報
 天気・風・波

①区域予報の
 カテゴリー予報
 降水確率

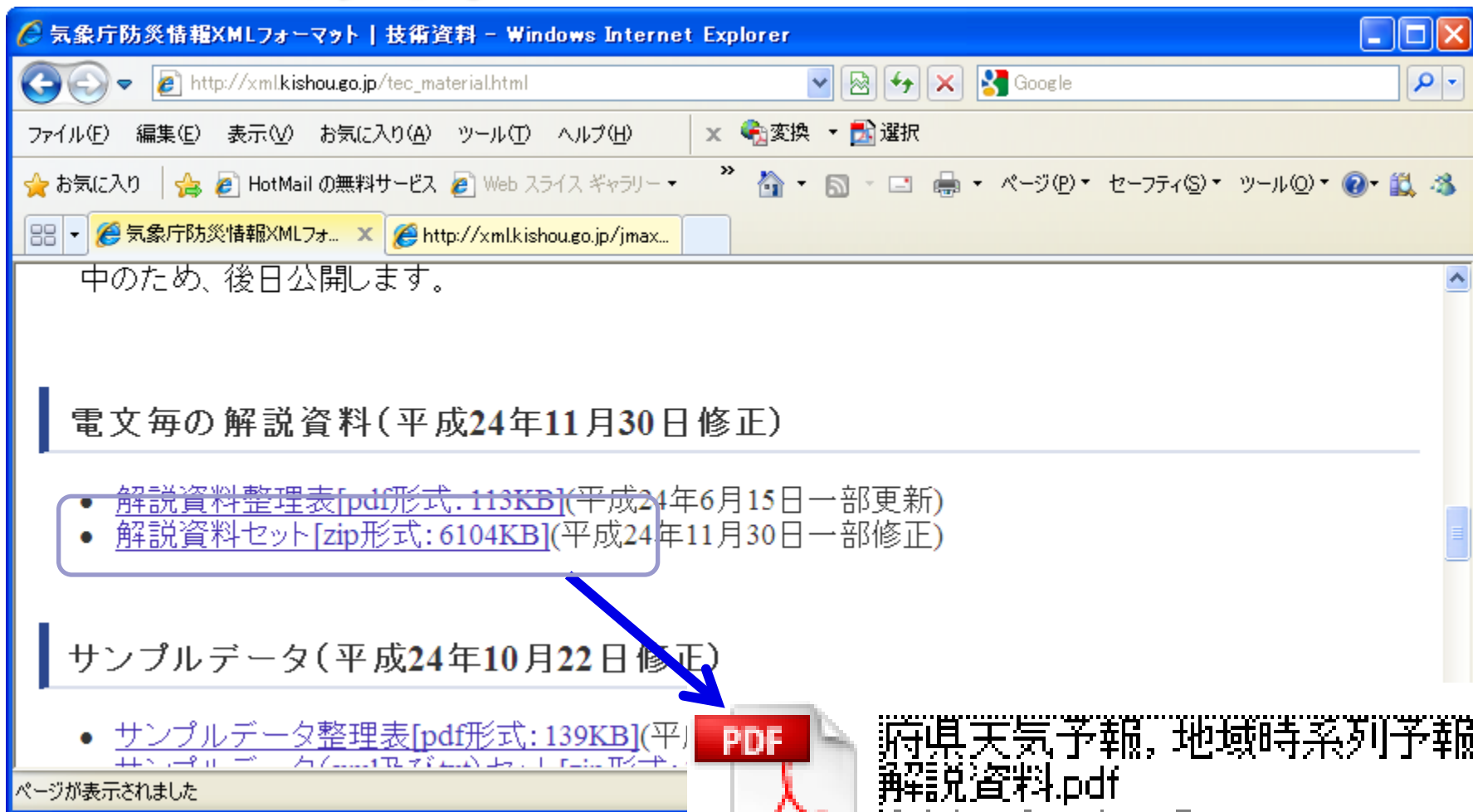
②地点予報の
 量的予報
 最高・最低気温

内容部の作りと気象庁HPを照らし合わせてみると。

■ 時系列予報



【解説資料を眺めてみよう】 ここにある。



気象庁防災情報XMLフォーマット | 技術資料 - Windows Internet Explorer

http://xml.kishou.go.jp/tec_material.html

中のため、後日公開します。

電文毎の解説資料(平成24年11月30日修正)

- 解説資料整理表[[pdf形式: 113KB](#)](平成24年6月15日一部更新)
- 解説資料セット[[zip形式: 6104KB](#)](平成24年11月30日一部修正)

サンプルデータ(平成24年10月22日修正)

- [サンプルデータ整理表\[**pdf形式: 139KB**\]](#)(平成24年10月22日一部修正)

PDF

府県天気予報, 地域時系列予報
解説資料.pdf
Adobe Acrobat Document

ページが表示されました

今度は解説資料を上から俯瞰してみよう。

■ ヘッダ部の記載をみると...

InfoKind	「スキーマの運用種別情報」 同一スキーマ上における情報分類に応じた運用を示す種別情報である。「 府県天気予報 」と記述する。
InfoKindVersion	「スキーマの運用種別情報のバージョン」 スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。本解説のバージョン番号は「1.0_0」。
Headline	「見出し要素」 防災気象情報事項となる見出し要素を示す。
Text	「見出し文」 府県天気予報では値は記述しない（「空タグ」とする）。

```

<InfoKind>府県天気予報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
<Headline>
<Text/>
</Headline>

```

見方は
分かった

中身が無いぞ？

■ 解説資料と電文は同じ運用であることを確認。

今度は解説資料を上から俯瞰してみよう。

■ 内容部の記載を見てみると...

②Body 部の詳細

タグ	解説
MeteorologicalInfos	予報の項目を属性 type で指定する。属性 type は“区域予報”、“地点予報”、“独自予報”の値をとる。 “区域予報”の場合は、天気予報文 (③個別要素の詳細の※1参照) 又は地域時系列予報の天気・風 (③個別要素の詳細の※4参照)、“地点予報”の場合は、予想気温 (③個別要素の詳細の※2参照) 又は地域時系列予報の気温 (③個別要素の詳細の※5参照)、“独自予報”の場合は、独自予報 (③個別要素の詳細の※3参照) を記述する。
└ TimeSeriesInfo	MeteorologicalInfos の属性 type で指定した予報の項目を時系列情報として記述する。
└ MeteorologicalInfo	MeteorologicalInfos の属性 type で指定した予報の項目を記述する。

□ 『属性type は“区域予報”、“地点予報”、“独自予報”の値をとる。』

■ 内容部のおっきなつくり

```

<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
<MeteorologicalInfos type="区域予報">...</MeteorologicalInfos>
<MeteorologicalInfos type="地点予報">...</MeteorologicalInfos>
<MeteorologicalInfos type="区域予報">...</MeteorologicalInfos>
<MeteorologicalInfos type="地点予報">...</MeteorologicalInfos>
</Body>

```

独自予報って見ていないなあ

今度は解説資料を上から俯瞰してみよう。

■ と思ったら、たまに有った。

```

<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
<MeteorologicalInfos type="区域予報">...</MeteorologicalInfos>
<MeteorologicalInfos type="地点予報">...</MeteorologicalInfos>
<MeteorologicalInfos type="独自予報">
<MeteorologicalInfo>
<DateTime>2013-03-08T05:00:00+09:00</DateTime>
<Duration>P1DT19H</Duration>
<Item>
  <Kind>
    <Property>
      <Type>独自予報</Type>
      <Text>海上の最大風速 今日 15m/s のち 13m/s 明日 12m/s のち 10m/s</Text>
    </Property>
  </Kind>
  <Area>
    <Name>神奈川県</Name>
    <Code>140000</Code>
  </Area>
</Item>
</MeteorologicalInfo>
</MeteorologicalInfos>
<MeteorologicalInfos type="区域予報">...</MeteorologicalInfos>
<MeteorologicalInfos type="地点予報">...</MeteorologicalInfos>
</Body>
  
```

構造自体は
これまでと変わらない。

今度は解説資料を上から俯瞰してみよう。

- jmx_meteの辞書を見直してみると...

12	Item		type.Item		+ 注意・警戒事項の内容	対象
13	type.MeteorologicalInfos					
14		type	xs:string	50	1 予報・観測の種別	この
15			*			"季節観測"
16			*			"生物季節観測"
17			*			"特殊気象報(気圧)"
18			*			"特殊気象報(風)"
19			*			"特殊気象報(各種現象)"
20			*			"紫外線観測データ"
21			*			"全般海上警報"
22			*			"概況"
23			*			"気象要因"
24			*			"観測実況"
25			*			"台風情報"
26			*			"天候情報"
27			*			"地方海域の予報"
28			*			"水位実況"
29			*			"水位予想"
30			*			"カテゴリ予報"
31			*			"区域予報"
32			*			"地点予想"
33			*			"地点予報"
34			*			"予想気温"
35			*			"降水確率"
36			*			"独自予報"
37			*			"付加情報"
38			*			"日別平年値"
39			*			"7日間平年値"
40			*			"季節予報"
41			*			"天候情報"
42			*			"異常天候早期警戒情報"
43			*			"記録的短時間大雨情報"
44			*			"雨量情報"
45			*			"水位・流量情報"

確かに辞書にも
書いてある。

解説資料で、気温の時系列予報を掘り下げてみよう。

タグ	解説
TimeSeriesInfo	
└ TimeDefines	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└┐ TimeDefine	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID) に対応する ID(timeId) を記述する。ID は 1~9 または 1~11。ID で示す、予報対象数と同数（9 または 11 回）を繰り返して記述する。
└┐┐ DateTime	予報時刻を示す。“2008-01-10T06:00:00+09:00” のように日本標準時で記述する。
└┐┐┐ Item	気温の地域時系列予報と、予想地点を記述する。府県予報区に含まれる発表予想地点の数だけ繰り返す。※ 5-1 参照。

■ ④: 地点予報の時系列予報

```
<MeteorologicalInfos type="地点予報">
```

```
<TimeSeriesInfo>
```

```
<TimeDefines>...</TimeDefines> ➡ 時間の定義
```

```
<Item>
```

```
<Kind>
```

```
<Property>
```

```
<Type>3時間毎気温</Type>
```

```
<TemperaturePart>...</TemperaturePart>
```

```
</Property>
```

```
</Kind>
```

```
<Station>
```

```
<Name>名古屋</Name>
```

```
<Code>51106</Code>
```

```
</Station>
```

```
</Item>
```

```
➡ 地点数分続<
```

TimeDefinesって
あったなあ

気温の時系列予報

対象となる地域

気温の時系列予報部分のXMLをみてみよう。

```

<TimeSeriesInfo>
  <TimeDefines>
    <TimeDefine timelid="1">
      <DateTime>2013-03-06T18:00:00+09:00</DateTime>
    </TimeDefine>
    <TimeDefine timelid="2">
      <DateTime>2013-03-06T21:00:00+09:00</DateTime>
    </TimeDefine>
    :
  </TimeDefines>
  <Item>
    <Kind>
      <Property>
        <Type>3時間毎気温</Type>
        <TemperaturePart>
          <jmx_eb:Temperature description="13度" refID="1" type="気温" unit="度">13</jmx_eb:Temperature>
          <jmx_eb:Temperature description="10度" refID="2" type="気温" unit="度">10</jmx_eb:Temperature>
          :
        </TemperaturePart>
      </Property>
    </Kind>
    <Station>
      <Name>名古屋</Name>
      <Code>51106</Code>
    </Station>
  </Item>
  <Item>...</Item>
</TimeSeriesInfo>
  
```

ポインター的なID

対象となる予報時刻

このエントリーの時刻はIDが一致するもの

表示するならこっち

数値処理するならこっち

「名古屋」?

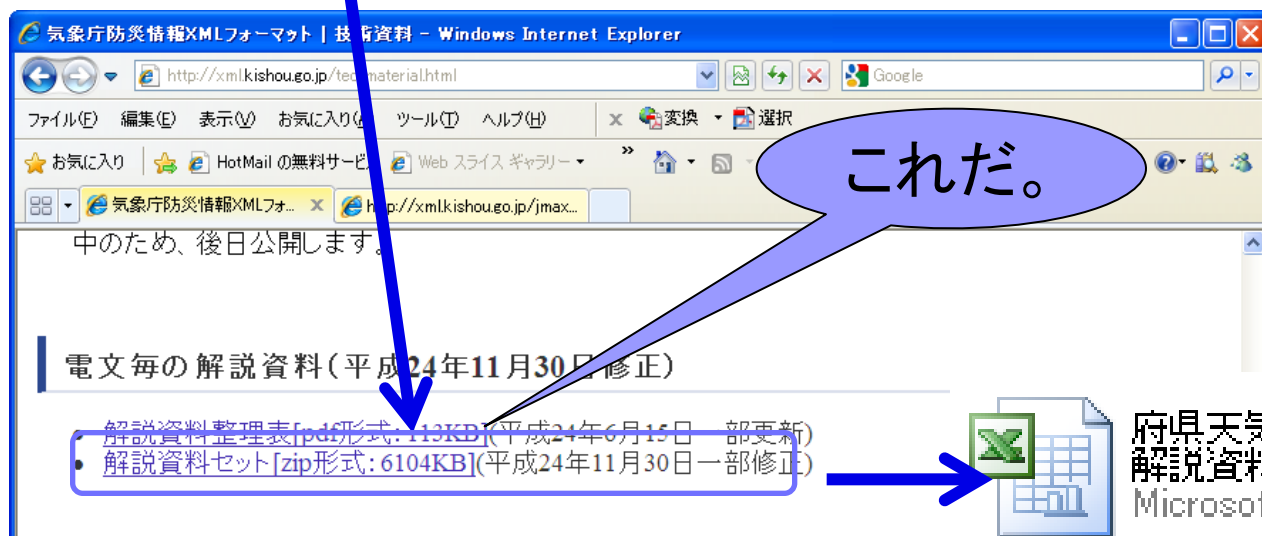
Codeの“51106”って何だ?

「名古屋」「51106」って何だ？

■ 解説資料の『「予想気温」の詳細』

タグ	解説
Item	
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名を記述する。TemperaturePart に記述する予想気温の内容を示し、Type の値は“日中の最高気温”、“最高気温”“朝の最低気温”の値をとる。
└ TemperaturePart	予想気温を記述する。※ 2-1-1 参照。
└ Station	発表予想地点を記述する。※
└ Name	発表予想地点の名称を、“東京”“大阪”などと記述する。
└ Code	発表予想地点のコード番号を、“44132”“62078”などと記述する。

※対象地点は府県天気予報・府県週間天気予報_解説資料付録を参照のこと



気象庁防災情報XMLフォーマット | 技術資料 - Windows Internet Explorer

http://xml.kishou.go.jp/technical/material.html

このため、後日公開します。

電文毎の解説資料(平成24年11月30日修正)

- 解説資料整理表[pdf形式: 113KB](平成24年6月15日一部更新)
- 解説資料セット[zip形式: 6104KB](平成24年11月30日一部修正)

これだ。

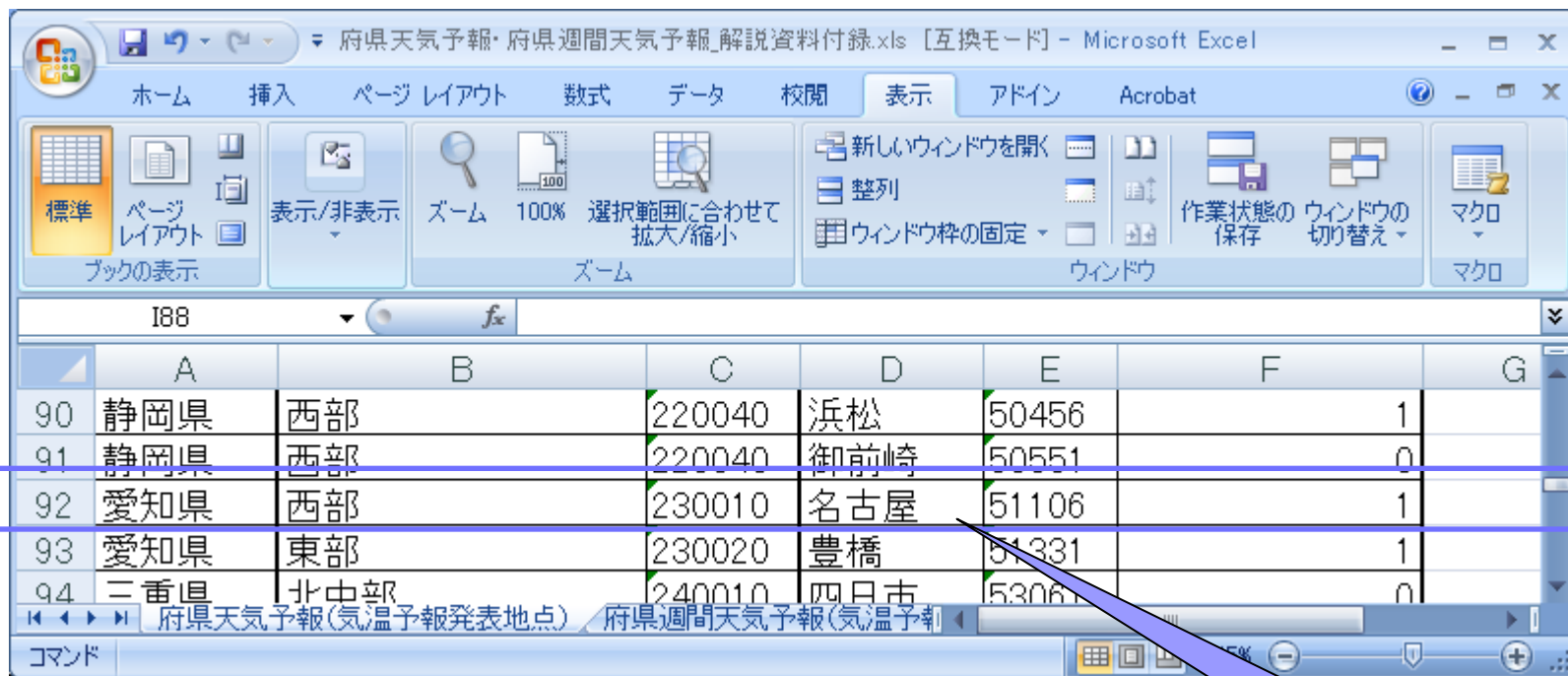


府県天気予報・府県週間天気予報_解説資料付録.xls
Microsoft Office Excel 97-2003 ...



府県天気予報・府県週間天気予報_解説資料付録.xls
 Microsoft Office Excel 97-2003 ...

はこんなんだった。



	A	B	C	D	E	F	G
90	静岡県	西部	220040	浜松	50456		1
91	静岡県	西部	220040	御前崎	50551		0
92	愛知県	西部	230010	名古屋	51106		1
93	愛知県	東部	230020	豊橋	51331		1
94	三重県	北中部	240010	四日市	53061		0

あった。

コードはこんなものにも書いてあった。

気象庁防災情報XMLフォーマット | 技術資料 - Windows Internet Explorer

http://xmlkishou.go.jp/tec_material.html

コード管理表及び個別コード表(平成21年5月15日公表(平成25年2月27日一部更新))

- コード管理表一式[xls形式: 136KB](平成25年2月27日一部更新)
- 個別コード表[zip形式: 1075KB](平成25年2月27日一部更新)

#「AreaForecastLocalMコード表」については、以下の通りの利用
平成25年1月7日13時から平成25年3月4日13時まで「201...
利用

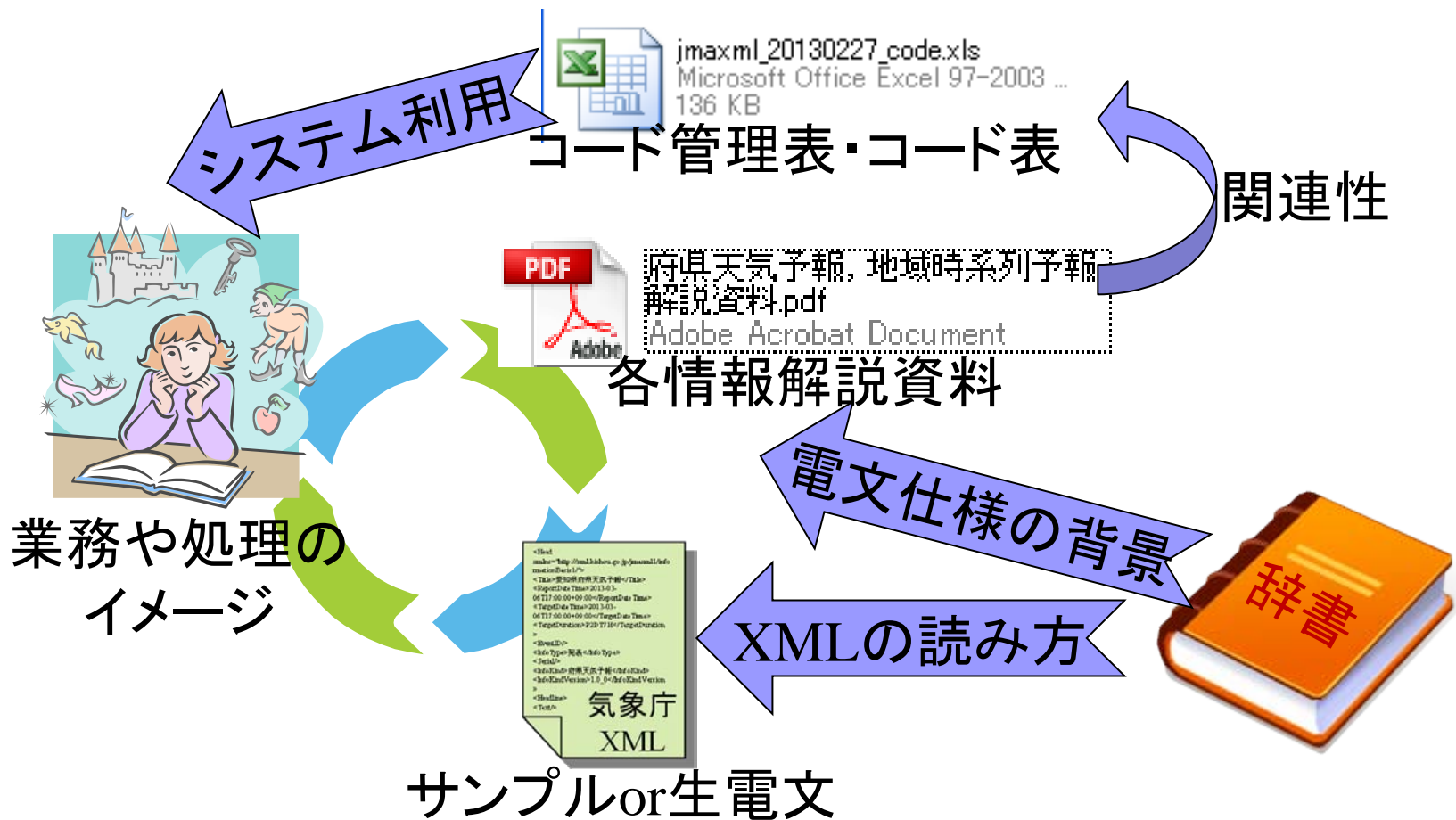
jmaxml_20130227_code.xls
Microsoft Office Excel 97-2003 ...
136 KB

A	B	C	D	E	F	G
225	221		更新履歴			2010/9/15
226	222	code PointAmedas	PointAmedas	種別		"アメダス地点番号"
227	223		コード名出現XPath			内容部
228	224		出現電文(InfoKind)			MeteorologicalInfos/@type="地点予報"の場合
229	225					MeteorologicalInfos/@type="地点予報"の場合
230	226					MeteorologicalInfos/@type="日別平年値"の場合
231	227					MeteorologicalInfos/@type="7日間平年値"の場合
232	228		コード表リンク			20120309_PointAmedas.xls
233	229		更新履歴			2010/9/15
234	230					2012/6/15
235	231					臨時観測所などを追記
236	232	code WaterLevelStation	WaterLevelStation	種別		"水位観測所"
237	233		コード名出現XPath			内容部
238	234					内容部

■ 「20120309_PointAmedas.xls」がコード表

【資料の見かたの流れ】

- 相互にぐるぐるみましょう。



【いっぱい使える他の資料】

■ サンプルデータ

- XML形式と日本語化した形式とをペアでサンプル化
- サンプルにはシナリオがあるので、整理表で関連性を確認。

■ スタイルシート

- 動作確認などのためにもスタイルシート(XSLT)を用意
- 動作確認のみならず、処理のためのサンプルコードとしても利用可。(直接組み込みは禁止。)

■ 気象庁防災情報XMLフォーマット運用指針

- 仕様書の行間を補てん。
- 特に「管理部・ヘッダ部の運用整理表」は情報別にとりうる値の運用を整理。

サンプルデータ

■ サンプルデータ整理表より

4	特殊気象報	フレ	70 04 01 091210 fure-1.xml	70 04 01 091210 fure-1.txt	○	#「フレ」の例
			70 04 01 091210 fure-2.xml	70 04 01 091210 fure-2.txt	○	#「フレ」の「取消」の例
			70 04 01 091210 fure-3.xml	70 04 01 091210 fure-3.txt	○	#「フレ」の「訂正」の例
5	紫外線観測データ	無し(ファイルで提供中)	70 05 01 100806 uvindex.xml	70 05 01 091210 uvindex.txt	○	#平成21年7月30日20時(日本時間)の例
6	全般台風情報(総合情報、上陸等情報)	ゼンコクタイフウ1	70 06 01 100514 zenkokutaifu1.xml	70 06 01 100514 zenkokutaifu1.txt	○	#平成21年台風第8号総合情報の例
			70 06 02 100514 zenkokutaifu11.xml	70 06 02 100514 zenkokutaifu11.txt	○	#上記の「訂正」の例
7	全般台風情報(位置、発生情報)、発達する熱帯低気圧に関する情報	ゼンコクタイフウ21	70 07 01 100514 01zenkokutaifu21.xml	70 07 01 100514 01zenkokutaifu21.txt	○	#1①平成21年台風第8号位置情報の例
			70 07 01 100514 02zenkokutaifu21.xml	70 07 01 100514 02zenkokutaifu21.txt	○	#1②平成21年台風第8号位置情報の例
			70 07 02 100806zenkokutaifu21.xml	70 07 02 100806zenkokutaifu21.txt	○	#2発達する熱帯低気圧に関する情報の例
			70 07 03 100514zenkokutaifu21.xml	70 07 03 100514zenkokutaifu21.txt	○	#3台風発生情報の例
8	全般台風情報(位置詳細)	ゼンコクタイフウ22	70 08 01 110126 zenkokutaifu22.xml	70 08 01 091210 zenkokutaifu22.txt	○	#平成21年台風第8号に関する情報の付録(位置詳細)の例
			70 08 01 100806 zenkokutaifu22.xml	70 08 01 100806 zenkokutaifu22.txt	○	#平成19年台風第11号に関する情報第73号付録(位置詳細)
9	台風解析・予報情報電文(新形式)	KFXCii (ii=80-85)	70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-06.xml	70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-06.txt	○	#1平成21年台風第10号の例①情報1号
			70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-12.xml	70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-12.txt	○	#1平成21年台風第10号の例②情報3号
			70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-15.xml	70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-15.txt	○	#1平成21年台風第10号の例③情報4号
			70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-18.xml	70 09 01 091210 KFXC80 RJTD 0803-18.txt	○	#1平成21年台風第10号の例④情報5号
	震度速報(新形式)	差し替え	70 32-39 11 120615 01shindosokuhou3.xml	70 32-39 11 120615 01shindosokuhou3.txt	○	#11①震度速報
	津波警報・注意報(新形式)	差し替え	70 32-39 11 120615 02tsunamiyohou11.xml	70 32-39 11 120615 02tsunamiyohou11.txt	○	#11②津波警報等発表(定性的表現)
	津波情報(新形式)		70 32-39 11 120615 03tsunamijohou11.xml	70 32-39 11 120615 03tsunamijohou11.txt	○	#11③満潮時刻・津波到達予想時刻
	震源・震度に関する情報(新形式)		70 32-39 11 120615 05zenkokusaisumo11.xml	70 32-39 11 120615 05zenkokusaisumo11.txt	○	#11⑤震源・震度に関する情報(巨大地震)
	津波警報・注意報(新形式)	差し替え	70 32-39 11 120615 06tsunamiyohou11.xml	70 32-39 11 120615 06tsunamiyohou11.txt	○	#11⑥沖合の津波観測による警報切替
	津波情報(新形式)	差し替え	70 32-39 11 120615 08tsunamijohou11.xml	70 32-39 11 120615 08tsunamijohou11.txt	○	#11⑧津波観測
	津波警報・注意報(新形式)	差し替え	70 32-39 11 120615 09tsunamiyohou11.xml	70 32-39 11 120615 09tsunamiyohou11.txt	○	#11⑨警報等切替(数値表現への変更)
	津波情報(新形式)		70 32-39 11 120615 10tsunamijohou11.xml	70 32-39 11 120615 10tsunamijohou11.txt	○	#11⑩津波観測
	津波警報・注意報(新形式)	差し替え	70 32-39 11 120615 11tsunamiyohou11.xml	70 32-39 11 120615 11tsunamiyohou11.txt	○	#11⑪警報等切替
	津波警報・注意報(新形式)		70 32-39 11 120615 13tsunamijohou11.xml	70 32-39 11 120615 13tsunamijohou11.txt	○	#11⑬注意報解除

#11①震度速報
#11②津波警報等発表(定性的表現)
#11③満潮時刻・津波到達予想時刻
#11⑤震源・震度に関する情報(巨大地震)
#11⑥沖合の津波観測による警報切替
#11⑧津波観測
#11⑨警報等切替(数値表現への変更)
#11⑩津波観測
#11⑪警報等切替
#11⑬注意報解除

気象庁防災情報XMLフォーマット運用指針

■ 別紙2：管理部・ヘッダ部の運用整理表

通番	資料(情報)名	現在のヘッダ名	事項種別 Head部 InfoKind	要素 Control部				
				Title	DateTime	Status	EditorialOffice	Pi
23	天気概況	フケカイヨク1	"平文情報"	"府県天気概況"	"	"	"※府県予報担当官署"	"
24	府県天気予報, 地域時系列予報	ヨホ1, VPFD40, KYYY50	"府県天気予報"	"府県天気予報"	"	"	"※府県予報担当官署"	"
25	全般週間天気予報	ゼンバンシュウカン1	"平文情報"	"全般週間天気予報"	"	"	"気象庁本庁"	"

通信処理用 ← 具体電文内容

Head部	通信処理用 ← 具体電文内容								
	PublishingOffice	ReportDateTime	TargetDateTime	TargetDTDubious	TargetDuration	ValidDateTime	EventID	InfoType	Serial
"気象庁予報部"	発表日時分※1	同左	-	-	-	-	-	発表/訂正	-
"気象庁予報部"	発表日時※3	同左	-	予報対象期間の長さ	-	-	-	発表/訂正/遅延	-
"気象庁予報部"	発表日時分※1	予報開始日	-	-	-	-	-	発表/訂正	-

■ 例えば...

- TargetDateTimeは何が入っているの？
- EditorialOfficeって具体的にどこの官署が入るの？
- PublishingOfficeってどう使うの？